# 避難指示解除と復興に向けて
# 方部別住民懇談会

国・村・村議会の共催で、4月24日から全5回の方部別住民懇談会が開かれました。

懇談会には全会場合わせ、村民約400人が参加し、国の担当者から村の復興に向けた取り組みについて説明を受けた後、避難指示解除に向けた国の考え方、村の対応、その他全般の課題について、質問や意見を述べ合いました。

今回は、懇談会で説明された主な内容や質疑応答をお知らせします。

### はじめに

今回の方部別住民懇談会は、村及び村議会が国に対し次の2点について要望したことを踏まえ、村民の皆さんの声をお聞きするために開催しました。

①平成29年3月末の避難指示解除

②平成28年7月1日からの長期宿泊の実施

### 避難指示解除について

避難指示解除とは、ふるさとに「戻りたい」と考える住民の方々のために、強制的に避難させていたものを解除する措置です。

避難指示解除は、次の3点を踏まえ、国（原子力対策本部）が行います。

①空間線量率で推定された積算線量が年間20mSv以下

②日常生活に必須なインフラ（電気、ガス、上下水道、主要交通網、通信など）や生活関連サービス（医療、介護、郵便など）が概ね復旧し、子どもの生活を中心とする除染作業が十分に進捗すること

③県、村、住民の方々との協議

## 村の現状と今後の取り組みについて

会の冒頭、国から村の復興状況と今後の取り組みについて説明がありました。
主な内容をお知らせします。

### 除染による放射線量の低減

- 村内の宅地まわり除染が昨年６月に完了しています。
- 28年度は作業員6,000人体制で、農地や道路の除染を実施中で、12月までに完了する見込みです。また、宅地周りのフォローアップ除染を４月より実施しています。

### 商業の再開・買い物環境の確保

- 昨年７月に村内草野地区に「セブンイレブン飯舘村仮設店舗店」が新規営業開始しています。
- 現在、他の商業施設や飲食店の開設に向けて検討をしています。

### 医療・介護施設の再開

- 医療施設については、今年の９月から「あづま脳神経外科病院」が「いいたてクリニック」で一部診療を開始する予定です。
- 介護施設として、特別養護老人ホーム（いいたてホーム）の入居サービスは継続しています。

### コミュニティの再生

- 村公民館の建替え工事が進行中で、名称を「飯舘村交流センター」と改め、今年の８月に開所予定です。
- 鉄筋コンクリート造りの平屋建て（多目的ホールなど一部が木造）の建造物です。
- 村民の皆さんの交流と憩いの場として、有効に活用していきます。

### 魅力ある村の再構築

- 深谷地区に復興拠点エリアの整備を昨年８月から進めています。
- 道の駅 までい館（仮称）は、今年の１月に国の重点道の駅に選定されました。
- 道の駅は、今年７月頃の着工を予定しており、完成は来年６月頃を見込んでいます。

### 放射線不安対策

- 村では今年３月に放射線モニタリングポストを村内88か所に設置しました。放射線量については、10分毎の空間線量を24時間測定しており、村ホームページでも随時確認することができます。
- モニタリングポストは、これまでに国が40か所、県が13か所設置しており、村内には全部で141か所に設置されています。

### 新エネルギー施設の整備

- 深谷地区の復興拠点に、太陽光発電所を設置し、今年５月下旬から本格運転を開始しています。
- 大火山のメガソーラー発電所が、今年の３月に運転を開始しており、向こう20年間で、約12億円の村の財源確保につながる見込みです。